

内科

感染性胃腸炎が起こる場面

吐き気、嘔吐、下痢などの症状で来院する患者さんから、「特に変わったものは食べていない」「よく行く有名な飲食店で食べた」「家族全員が同じものを食べたが、他に具合の悪い者はいない」などの言葉をよく聞きます。しかし、自身の食べた1貫のすし、ひと串の焼き鳥に、感染源が存在している場

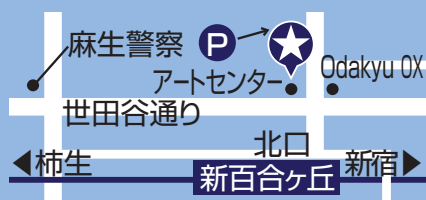
合も考えられます。腹痛、嘔吐、下痢が始まったら、直前の食事だけでなく2〜3日前までに自分が食べたものをよく思い出してみると、原因が判明することは往々にしてあります。最近、カクピロバクター腸炎の患者さんが増えている印象です。以前のコラムにも書きましたが、加熱不十分な鶏肉にはカクピロバクターという細菌が存在していると考えてください。軽くあぶったたたき、鳥

刺し、半生の焼き鳥は感染のリスクが高いため、カクピロバクター腸炎を防ぐためには避けるべきメニューです。



内科
新百合山手福本内科

福本 学



☎044-955-8877
麻生区万福寺6-7-2
メディカルモリノビル2F
<http://www.fukumotonaika.jp/>